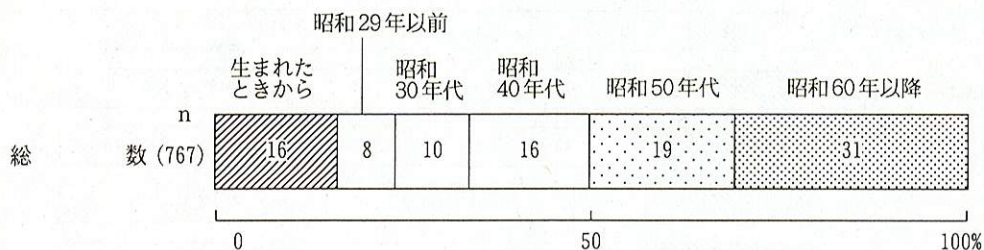


1. 定 住 意 識

1-1 居住開始時期

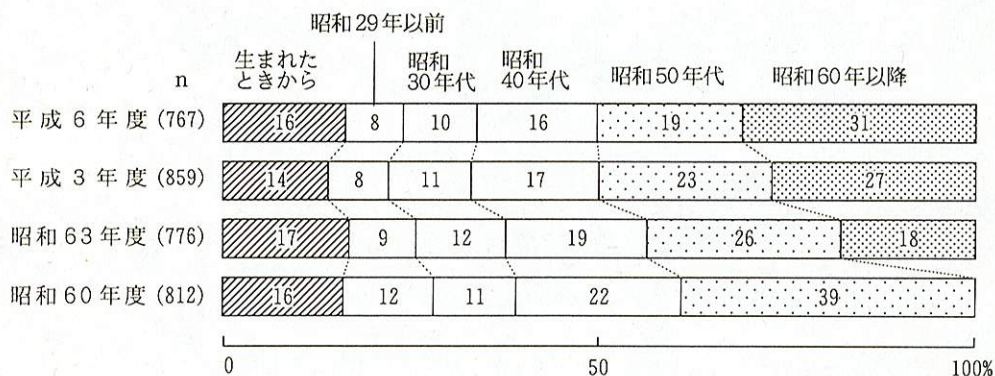
問1 〔回答票〕 あなたは、福生市にいつごろからお住みですか。(○は1つ)



福生市への居住開始時期は、「昭和60年以降」(31%)と答えた人が3割で最も多い。また、「生まれたときから」住んでいる人は16%となっている。

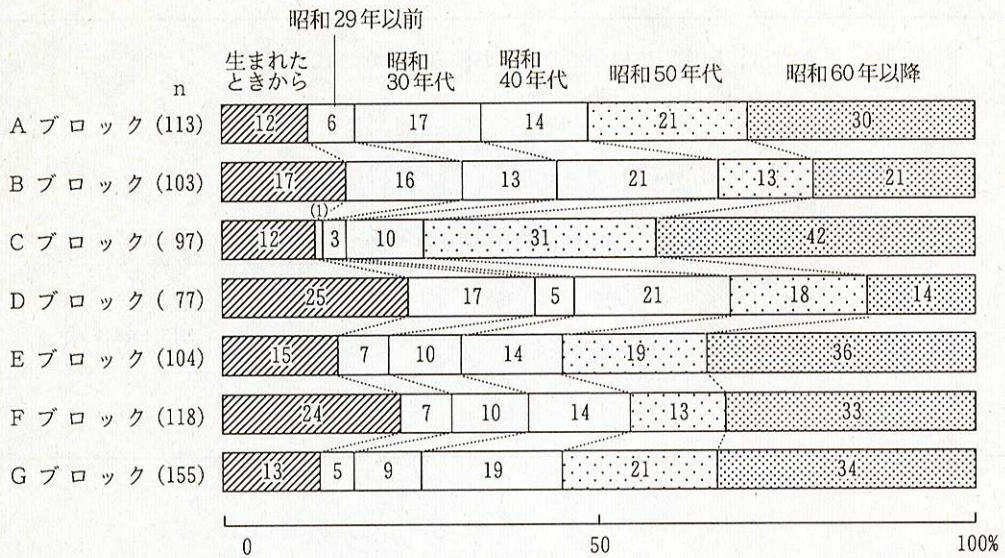
平成3年の調査と比較すると、「昭和50年代」という人の割合が4ポイント減少し、「昭和60年以降」という人が4ポイント増加している。

図1-1 居住開始時期(時系列)



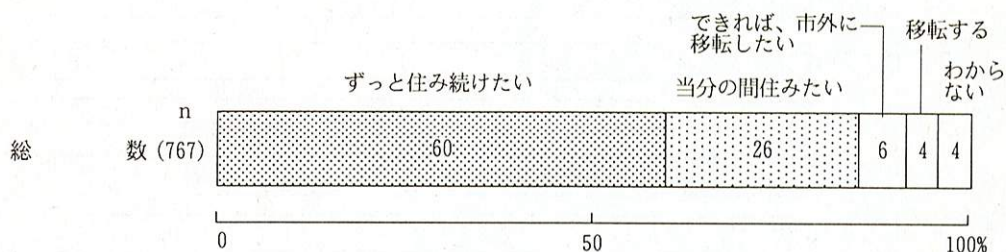
地域別にみると、D、Fブロックで、「生まれたときから」住んでいるという人が2割を超えている。また、Cブロックでは、「昭和60年以降」という人が42%と、他の地域に比べ高い割合となっている。

図1-2 居住開始時期（地域別）



1-2 定 住 意 向

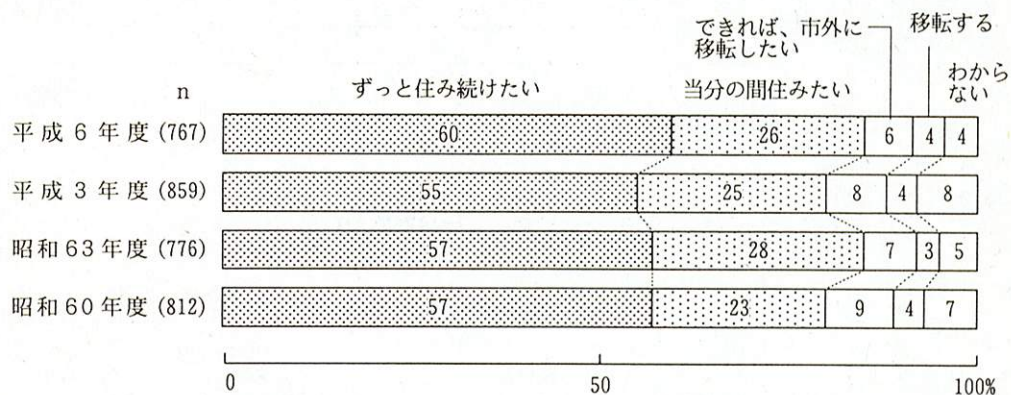
問2 [回答票] あなたは、今後も福生市に住み続けたいと思いますか。それとも市外に移転したいと思いますか。(○は1つ)



福生市への定住意向をたずねたところ、「ずっと住み続けたい」と答えた人が60%と最も多くなっている。「当分の間住みたい」という人は26%、「できれば、市外に移転したい」という人は6%、「移転する」という人は4%となっている。

過去の調査と比較すると、昭和60年度以降の調査の中では、今回の調査で、「ずっと住み続けたい」という人の割合が、最も高くなっている。

図1-3 定住意向（時系列）



性・年齢別にみると、男女とも年齢層が上がるほど「ずっと住み続けたい」という人の割合が高くなる傾向がみられ、60歳以上では8割を超えている。また、男性の30代では「ずっと住み続けたい」人が30%であるのに対して、女性の30代では48%にのぼっている。

住居形態別にみると、「ずっと住み続けたい」という人の割合は、借家の人（49%）に比べ、持ち家の人（69%）で高くなっている。

図1-4 定住意向（性・年齢別）

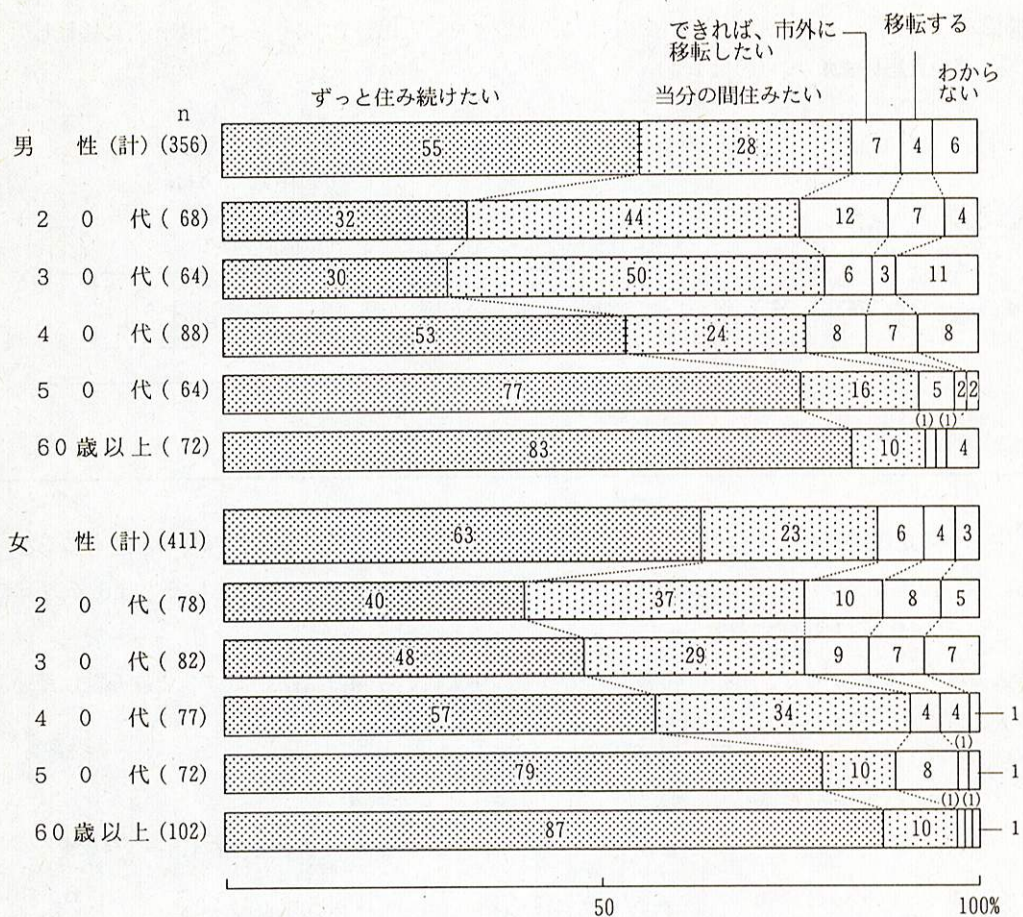
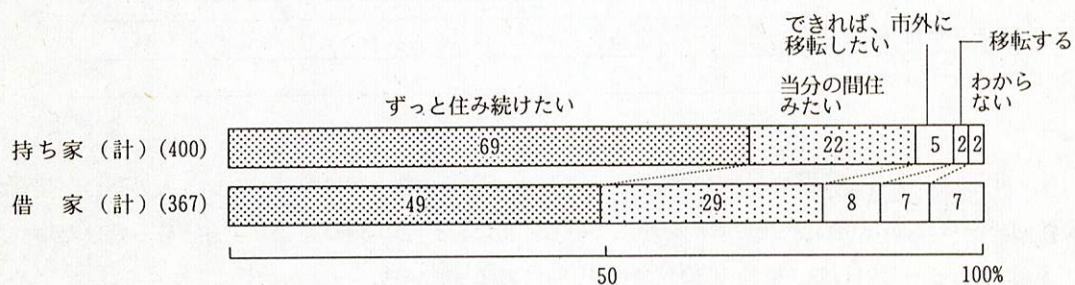
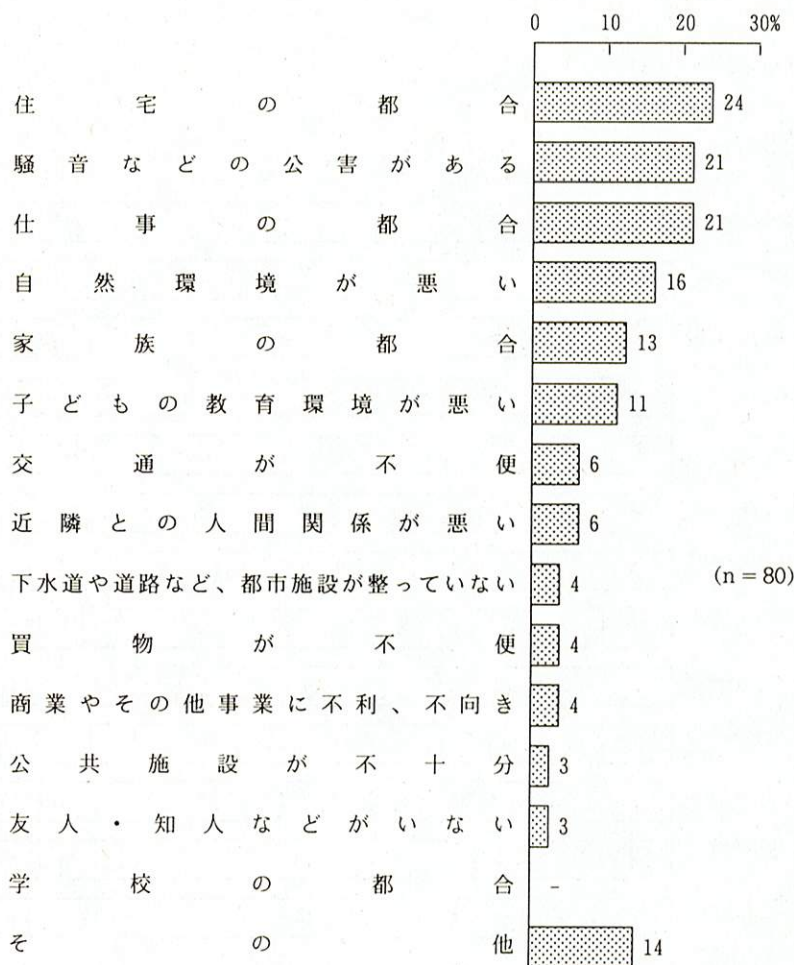


図1-5 定住意向（住居形態別）



1-3 移転したい理由

問2-1 [回答票] 移転したいというのは、どうしてでしょうか。この中から2つまであげてください。(〇は2つまで)



問2で、「できれば、市外に移転したい」あるいは「移転する」と答えた人(80人)に、その理由をたずねたところ、「住宅の都合」を24%の人があげている。次いで「騒音などの公害がある」、「仕事の都合」がそれぞれ21%となっている。以下、「自然環境が悪い」(16%)、「家族の都合」(13%)、「子どもの教育環境が悪い」(11%)などとなっている。